

古利根川、冬の自然を訪ねて!

●春日部震わしの杜・自然観察会

1月29日(土)は、午前11時から「春日部麗し
り杜・自然観察会」(春日部地区浦高会：三輪昭彦
会長、川久保公園)を開催しました。会員7名が集
まり、自然体
系保護協会春
日部支部の三
好あき子支部
長にご案内い
ただき、川久
保公園と隣接
する古利根川



における「冬の鳥」について学習しました【写真①：
川久保公園の植栽地の状況】。

三好さんからは最初に、「川久保」の土地柄につ
いて説明を伺
いました。江
戸時代(安政
3年の複製)
の古地図によ
ると、この土
地は古利根川
と「古海道(=
土手のこと)」
の間にあった窪地で、地図には「流
作地」とも書かれています。この流作地とは、堤防
内の作地で、川の氾濫で2年に1回程度しか収穫が
得られなくてもしかたないと考えられていた土地の
ようです【写真②：古地図を覗き込む会長等】。昔、
三輪さんが子どもの頃に、この近くにあった流作地
に田植えに来た思い出があるそうです。



三好さんからは、利根川東遷の歴史についても説
明していただきました。「この古利根川は、その名



前の通り江戸
時代以前の利
根川でした。
利根川は、暴
れ川で良く氾
濫を起こして
いて、江戸を

川の氾濫から守るために、徳川家康は、1590年
に伊奈忠次を関東郡代に任じて、河川改修を始め
ました。利根川
は中川、渡良
瀬川、そして
鬼怒川へと付
け替えられて
現在の利根川
へと流路が変



わっていきます。今のように機械で行う工事では
なく、人々の手で作られた工事で60年以上にわた
って行われました。凄いことですね。【地図上①：江戸
時代以前、地図下②：東遷後の流路、ウィキペディアより】

*

●次々と見られる野鳥たち!

地域の話から続いて、野鳥観察のために古利根
川の岸辺に近づきました。三好さんが泥を覗き込み



始めました【写
真③】。日本
でも北海道、熊
本県、埼玉県
の一部でしか見
られない希少植
物の「北見草」
が、この辺りの

湿地で見られるそうです。この日は、残念ながら見
ることができ
ませんでした。

川辺を歩き
出して、三好
さんが川中の
葦の中【写真④】
から鳥の声を
聞き分けられ



てスコープを覗き始めました。胸が黄色い「アオジ(蒿



雀)】【写真⑤、ウィキ
ペディア】でした。水
辺の枯れ葦などは、
小さな鳥たちにと
っては大切な隠れ
家だそうです。次
に、頭が赤褐色で

お腹が白いオ
スの「ヒドリガモ
(緋鳥鴨)」を捉
えてくれました
【写真⑥：皆で
説明を聞く】。「ハ
クセキレイ」「ム
クドリ」「ドバト」



などを見て、約
40分でしたが
楽しい観察会
ができました。
最後は、参加
者全員で記念
撮影【写真⑦】
全てに感謝!